

新年を迎えて

新年を迎えて、今年の抱負を述べてみたいと思います。その前に昨年を振り返ってみますと、昨年は嬉しいことに新たに4名の方が入会され、総勢20名の体制になるとともに、当クラブの組織体制が確立し、各グループ・個人の役割分担が明確になりました。それによりそれぞれが自主性と持ち味を發揮しながら皆で協力連携して取組む体制ができました。その結果、八頭町をはじめ関係機関ともうまく連携しながら、一昨年とは一味違う「川あそびフェスタ」や「八東川クリーン作戦」及び「クリーンセンターの見学研修会」などが実施できたように思います。また、昨年より当クラブの会報を毎月発行できるようになり、会員相互の情報共有化とともに活動実績のまとめともなり、かつPRにも役立ち大変好評でした。以上昨年は反省点はあるものの、組織基盤力が向上し実りの大きかった年と言えるでしょう。2003年に当クラブが発足し5周年となる今年は、私達の組織力をベースに、各グループで、新たな創意工夫を加えて、より多くの人々を巻き込んだ活動が企画推進されることを期待したいと思います。

次に、今年は、当クラブの活動の社会的信用度向上と活動資金の確保力向上及び当活動の永続性ある体制確立を目的として、是非NPO法人設立を実現したいと思います。また、法人化により、より幅広い活動が展開しやすくなるので、それを皆で活かしていきたいと思ひます。そしてこれからもずっと皆が知恵と力を合わせ、『私達の生活にかけがえのない八東川の清流を守り、魚が豊富で、子供達が楽しく遊べる川、老若男女が憩える場所となる、川づくりと機会づくり、環境づくり』をめざして、“継続は力なり”と念じつつ、粘り強く、かつ楽しくやっていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。(会長 中村 顕)



八東川清流クラブ・忘年会にて

例会模様 (43回-H19.12.22)

第43回・例会(H19.12.22(土)、13名出席)の様子は以下のとおりです。なお、今回の会場はペンション「姫宮」でした。

会長から今年1年の活動への謝意と今後NPO設立に向け協議を進めていこうとの挨拶があり、勉強会、協議に入りました。

1. NPOの勉強会、協議

- ・中村会長から資料「NPOの設立に関する基本情報」について説明がありました。
 - ・矢部事務局長から資料「NPO法人のQ&A」及び資料「任意団体等への助成金一覧」について説明がありました。
 - ・北本さんから「NPO八東の便利屋」を立ち上げられた経験からの話があり、設立準備に向けての協議を行いました。この中で、①なぜNPOにしなければならないか(NPOのメリット)、②NPOにかかる税金の免除、③助成金の事例などについて質問や議論が多く出されました。
- 結果として、今後、NPOの設立を勧める方向で検討することに決定しました。また、定款等の必要な書類の作成及び税金の免除、助成金の事例等の調査・研究を総務部で行い、次の例会に資料等を提出することとしました。

2. 平成20年度事業計画の概要

- ・総務部から資料「H20年度事業計画(検討課題:総務部構想概要)」により説明したところで時間となり、具体的協議に入ることなく、例会を終了しました。なお、その他のグループの構想は次回となりました。

3. その他

- ・千代川流域圏会議への参加に伴うメンバー登録について、正規メンバーとして中村会長、幹事として1人を登録することが承認されました。
- ・会長から昨年6月3日を中心に行われた「身近な水環境の全国一斉調査」結果について、簡単な説明がありました。

忘年会

例会終了後の18時ごろから開催し、仕事の関係で例会に間に合わなかった2名も加わって合計15名の参加。浅井・山崎の両新会員の自己紹介もあり、ポタン鍋などを囲んで、今年1年の思い出や来年に向けての思い、よもやま話に花が咲きました。

八東川のよもやま話・その3 (八東川の水運は?)

八東川を利用した舟運は、江戸期の寛文二年(1662)に才代村の中村家初代甚兵衛が日下部村(旧八東町)と福井村(旧船岡町)の間から郡家村(旧郡家町)で大江川支流・見槻川に合する船川を開いたことにより盛んとなり、年貢米や八東郡産物(八東川上流域及び小畑川流域が中心)で生産された材木・挽板・炭・薪などが才代村竹市渡場(旧八東町)や船岡村の渡場から高瀬舟や筏で千代川を経て鳥取に運ばれていた。高瀬舟が運航できるのは竹市渡場まで、同所から鳥取までの運賃は享保六年(1721)には上銀12匁(小判一両の1/5)、船岡渡場からは10匁(小判一両の1/6)であった。又、上流域は杉を中心とする林業地帯で「杉所」と呼ばれる木材伐採専門の集落があり、岩屋堂村(若桜町)からは筏流しも行われていた。

以上のように、八東川を利用した水運は江戸期から明治中頃まで行われていた。

(出展：日本の歴史地名大系・第32巻・鳥取県の地名(樺平凡社)、角川日本地名大辞典・鳥取県(角川書店))

今後の活動計画

19年度事業計画からみた3月末までの主な活動計画は次のとおりです。

各グループは自グループに係わる部分を事前に検討・整理しておいてください。

- ①平成20年度事業計画の策定(1月～3月末)
- ②平成19年度事業報告(～3月末)
- ③NPO設立準備(1月～)
- ④決算・予算(～3月末)

【次回の例会】

- ・日時：1月26日(土) 19:00～
- ・場所：八東公民館 2F会議室
- ・議題等
 - ①NPO法人化に関する勉強会
 - ②各グループのH20年度事業計画の概要
 - ③その他

【欠席の方は事前に事務局まで連絡願います】

携帯：090-7132-7290(矢部)